

東日本大震災・阪神・淡路大震災時のライフラインへの被害状況

○東日本大震災阪神・淡路大震災において地中線の信頼性が確認されています。

		供給支障被害状況（被害率）		比率 (地中線/ 架空線)	設備被害状況 (電柱の倒壊等)
		地中線	架空線		
阪神・淡路大震災	通信 ^{※1}	0.03%	2.4%	1/80	約3,600本 ^{※4}
	電力 ^{※2}	4.7%	10.3%	1/2	約4,500本 ^{※5}
東日本大震災	通信 ^{※3}	地震動エリア : 0%	地震動エリア : 0.0%	1/25	約28,000本 ^{※4}
		液状化エリア : 0.1%	液状化エリア : 0.9%		
		津波エリア : 0.3%	津波エリア : 7.9%		
電力	(データなし)	(データなし)	—	約28,000本 ^{※6}	

(出典)

○電力[東日本大震災]：東北電力・東京電力調べ

○電力[阪神・淡路大震災]：地震に強い電気設備のために(資源エネルギー庁編)

○通信：NTT調べ

※1：NTT神戸支店・神戸西支店管内（概ね神戸市内）でサービスの供給に支障が生じた設備延長の割合（地中線はマンホール間距離、架空線は電柱間距離）

※2：震度7の地域でサービスの供給に支障が生じた区間・設備数の割合（地中線はマンホール間、架空線は電柱）

※3：ケーブルの断線が発生した区間の割合（地中線はマンホール間、架空線は電柱間）

[地震動エリア]（岩手県）宮古市（栃木県）宇都宮市、小山市、佐野市、日光市、鹿沼市、真岡市、那須塩原市、足利市、栃木市

[液状化エリア]：（千葉県）千葉市、浦安市、船橋市、津田沼市、幕張市

[津波エリア]：（岩手県）野田村、久慈市（宮城県）塩釜市、岩沼市、石巻市、名取市

※4：供給支障に至らなかった場合を含む

※5：供給支障に至ったもの（上記以外に電柱の傾斜・沈下が約6,000本あり、一部は供給支障につながっているとみられるが、詳細な内訳は不明であるため含めていない）

※6：供給支障に至ったもの（上記以外に電柱の傾斜・沈下等が約23,000本あり）